

多様なバックグラウンドを持つ教員・学生と共に、東京の中心地で学ぶ

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

グローバル教育における日本の先駆者

上智大学には毎年世界中から1,500人以上の留学生がやってきます。すべての学部学科が同じキャンパスに集約されているため、多種多様なバックグラウンドを持つ教員・学生とともに、グローバルな環境で学ぶことができます。

幅広い教学プログラム

上智大学は、60年以上にわたって英語によるプログラムを提供してきました。学生は、日本の強みでもあるビジネスと経済、科学技術、環境研究を英語で学ぶことができます。また、留学生向けにさまざまな日本語コースを提供しています。

日本の中心地、東京

上智大学は、東京の中心地に位置しています。伝統と現代の要素が混ざり合うユニークな文化を体験する貴重な機会が得られる、政治的および経済的なハブ都市である「東京」で日本を体感することができます。

教育プログラム・統計

学部： 9学部 29学科
研究科： 11研究科 28専攻
学生数： 14,000～15,000名
※約1,500名が外国人学生
(世界80カ国以上)
常勤教員数： 約550名
(外国籍教員約100名)

② 国際交流の実績

上智大学には世界中に約400校の個性豊かな交換留学協定校・学術交流協定校があります。
2024年10月1日現在の協定校数：83カ国404大学

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2024年：留学生数1,839名 日研生3名
2023年：留学生数1,858名 日研生1名
2022年：留学生数1,505名 日研生2名

④ 地域の特徴

上智大学は、東京の中心部、千代田区にあり交通の便がよい一方で、皇居・迎賓館も近いことから周辺は比較的静かで、勉強する環境が整っています。



■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

- a) 主に日本事情・日本文化に関する研修
- b) 主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

★国際教養学部の授業はすべて英語で開講

英語で開講される科目を履修することで、学際的な日本研究に取り組むことができます。

開講科目の分野：

比較文化学、経済・経営学、社会科学

※外国語による授業数は、全授業科目の約20%である1,600科目以上

★日本語科目は習熟度別による少人数クラス

授業開始前に日本語プレースメントテストを実施し、その結果に応じて、クラスのレベルを決定します。



③ 受入定員

7名
大使館推薦5名
大学推薦2名

④ 受講希望者の資格、条件等

日本語・日本文化に関する分野を主専攻として専攻していること

渡日時に大学での日本語・日本文化学習期間が通算1年以上であること

日本語能力試験（JLPT）N2以上を保持していること

英語を母語としない場合は、下記いずれかの英語能力証明を保持していること

- ・TOEFL iBT 79点以上
- ・IELTS 6.0以上
- ・TOEIC 730点以上
- ・TOEFL PBT/ITP 550点
- ・ケンブリッジ英検 CPEまたはCAE

本学での留学期間が1年間であること

⑤ 達成目標

日本語科目：

言語教育研究センターが開講する多種多様な日本語科目を履修することで、日本語能力を向上させる。

専門科目：比較文化学、経済・経営学、社会科学
国際教養学部等で英語にて開講される各専門分野を専攻しながら、学際的に日本を研究し、知識を深める。

⑥ 研修期間（在籍期間）

2025年9月下旬 ～ 2026年7月下旬
(2025年9月21日 ～ 2026年9月20日)

⑦ 奨学金支給期間

2025年10月 ～ 2026年7月

⑧ 研修・年間スケジュール

9月中旬 渡日（通常9月17日前後）
オリエンテーション
9月下旬 秋学期授業開始
11月 ソフィア祭
12月 クリスマス行事
1月末 秋学期授業終了
4月 春学期授業開始
7月上旬 上智・南山大学競技大会（上南戦）
7月末 春学期授業終了、帰国

⑨ コースの修了要件

日本語科目または、日本事情・日本文化に関する授業を8単位以上履修すること。コース修了後、成績証明書が発行されます。

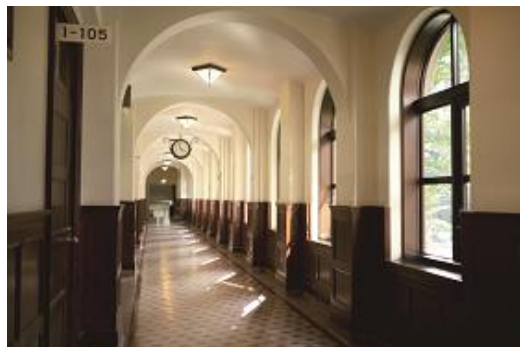
⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

すべて英語による履修が可能。日本語のみならず、人文学、社会学、経済学等の分野で日本に関する科目を幅広く学ぶことができます。

2) 研修・コース開設科目

- I) 必須科目なし
- II) 選択科目



【国際教養学部科目目録】（週2コマ、1コマ100分）

比較文化分野

日本美術論入門、日本美術概論、越境日本美術論、視覚文化とジェンダー、日本美術史演習、比較美術史特講、日本美術史特講、日本文学入門、日本文学概論、比較文学研究、日本文学研究、アジア文学研究、日本文学特講、日本演劇特講、日本の宗教、哲学・宗教学研究、仏教学概論、比較宗教学、宗教と象徴 等

社会科学分野

日本社会入門、日本研究概論、現代日本社会、政治と社会、日本文化史、日本女性史、日本近代史、日本外交史概論、日本史演習、日本の政治、日本の政治演習 等

経済・経営学分野

現代日本経済論、日本経営論、日本の人事労務管理論、経営学概論、国際金融論、金融論、比較経営学特講、国際マーケティング論、国際貿易論 等

※日本語で授業を受けられるレベルの学生は、外国語学部をはじめとする他学部開講の日本語言語学や日本語教育に関する科目を履修することができます。

【日本語科目】

Regular Track（週4～5コマ、1コマ100分）

初級：初級文法と漢字400字を学びます。「話す・聞く・読む・書く」の4技能を養います。

中級：中級レベルの文法と漢字800字を学ぶ。初級と同様に4技能の養成に力を入れています。

上級：新聞・雑誌・論説など生教材が用いられ、各段階に応じて量的、質的難易度が異なります。

Intensive Track（週10コマ、1コマ100分）

日本語学習のみを目的とするものが対象。日本語初級後半から上級までの4レベルがあります。

その他（週2コマ、1コマ100分）

専門日本語：上級の学習者は、ビジネス日本語、アカデミック日本語、英和翻訳のコースを取ることができます。

3）研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

アクティブ・ラーニングを取り入れた科目もあります。詳細については、下記シラバス検索をご参照ください。

シラバス検索：

<https://www.sophia.ac.jp/jpn/studentlife/risyu/syllabus.html>

4）日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

国際教養学部では正規生と同じ授業を受講することで、共修の環境が提供されています。

⑪ 指導体制

責任教員：

国際教養学部長 STRECHER Matthew Carl教授

事務責任者： グローバル教育推進室長 吉野朋恵

指導体制：

入学時にアドバイザーを決め、本学での勉学が効果的にできるよう履修計画等を指導します。

■宿 舎

交換留学生を斡旋している大学の提携寮を紹介します。

提携寮の契約に際しては、一定期間分の宿舍料金の前払いが求められる場合があります。



■修了生へのフォローアップ

・ 本学卒業生として現地ソフィア会（同窓会）に参加することが可能です。

・ 本学大学院への進学を希望する学生については、相談を受付けています。

・ 帰国後、メールにて修了後進路アンケート調査を行います。

■問合せ先

＜コース・カリキュラムに関する問合せ＞

国際教養学部事務室

TEL： +81-3-3238-4004

＜国費・事務手続に関する問合せ＞

グローバル教育推進室 国費留学生担当

住所： 〒102-8554

東京都千代田区紀尾井町7-1

TEL： +81-3-3238-4090

E-Mail： mext-co@sophia.ac.jp

＜ウェブサイト＞

国際教養学部：

<https://fla.sophia.ac.jp/>

上智大学：

<http://www.sophia.ac.jp/>